

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110

山岳競技優勝・自転車競技準優勝

多久の選手大活躍 ぎふ清流国体

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」(9月29日～10月9日)が開かれ、山岳成年男子ボルダリングに出場した尾崎晃一さん(東京電力)・樋口純裕さん(東多^{まさひろ}久町・早稲田大学)が優勝。また、自転車少年男子スプリントに出場した橋本瑠偉さん(多久町)が準優勝しました。佐賀県代表として活躍した3人はみな多久市出身です。ボルダリングは高さ5mの人工壁をロープなしで登り、チームの2人が制限時間内にいかに少ない回数で完登できるかを競う競技。仕事や学業との両立が難しいなかで健闘し、「優勝できるとは思わなかった」と佐賀県成年男子としての初優勝を喜びました。

自転車少年男子スプリント準優勝の橋本選手は、「精一杯頑張った結果です。来年は成年の部で優勝できるように頑張りたい」と高校最後の全国大会で決意を新たにしました。

▲山岳競技表彰
樋口純裕選手
(左から2番目)
尾崎晃一選手
(中央)



▼自転車競技
準優勝の
橋本瑠偉選手



平成24年度観光地合同美化キャンペーン

たくさんのボランティアで清掃活動

社団法人日本観光振興協会九州支部が主催し、九州各県の観光地で毎年取り組んでいる観光地合同美化キャンペーンが、10月14日多久聖廟周辺で行われました。

これは観光地の美化を推進するため取り組まれているもので、中堀事務局長は、「多久は観光ボランティア活動や清掃活動に取り組み美化意識が高い。全国に紹介して、美化意識を高揚したい」とキャンペーン地になった理由を説明。また「他所よりも参加が多く熱心」と話されました。

当日は、多久美化クラブ、そうじの会、多久ライオンズクラブ、多久町区長会、多久市地域婦人連絡協議会、中多久ボランティア連絡協議会、しみず園などから約130人が参加。秋季釈菜を前に参加者は、孔子像や多久茂文像、石碑の清掃、聖廟周辺の除草作業に汗を流しました。



▲道路脇の花壇の清掃をする
参加者のみなさん

孔子像もきれいに▶
なりました



別府一区面浮立勇壮に奉納

10/14

別府一区では伝承芸能面浮立を八幡神社に毎年奉納しています。この面浮立は昭和3年の昭和天皇御大典のとき、小城市芦刈町より導入された郷土伝承芸能で供日くんちに行われています。



八幡神社では神事のあと、五穀豊穰・家内安全・家業繁昌を祈念して、白い鬼の面をつけた面浮立保存会会長を先頭に、男面・女面をつけた大人から小中高生まで23人が、4曲を演舞奉納。その後通玄院つうげんいんの秋葉大明神や町内を巡演し、地区の繁栄を願いました。

被災地への思いを表現した花壇がお目見え

10/9

10月の都市緑化推進運動月間にちなんだ都市緑化植栽が、中央公民館前駐車場で行われました。

今年は『再生』をテーマに、色とりどりのビオラやアキランサスなど季節の花を使った花壇が完成。被災地の復興を「植物」と「鉢」を使って形にした作品で、倒壊した建物をイメージした鉢から、色鮮やかなビオラやアキランサスが広がって、都市が再生していく過程が表現されています。



西九州建設㈱の福島直幸さんは「被災地を含め、人が活躍できる環境を表現しました」とテーマに込めた思いを話しました。